

令和7年度 教育支援コーディネーター及びスクールソーシャルワーカーの
活動状況報告について

教育支援コーディネーター（CO）及びスクールソーシャルワーカー（SSW）への相談の主な主訴は、不登校・登校しぶり、特別な支援を要する児童生徒に関する問題、家庭環境の問題等である。教員経験者の教育支援コーディネーター7人と社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカー10人は、主に学校や関係機関との連携を図る業務を行っている。令和6年度から、各中学校を拠点にスクールソーシャルワーカーを配置し、令和7年度は、各中学校と一部の小学校を拠点に配置することで、問題を抱える児童生徒やその保護者を支援をした。

1 CO主訴別実数（集計期間：4月から3月まで）

主訴内容	件数				令和6年度 (CO)	
	小学生	中学生	その他	合計		
学 校	不登校・登校しぶり	73	50	13	136	105
	教職員との関係の問題	1	0	0	1	3
	進路・転校	4	1	2	7	8
	学校選択	0	0	0	0	1
	いじめ	1	0	0	1	2
	学習に関する問題	5	3	0	8	11
	非行（万引き・恐喝等）	0	0	0	0	0
	学校の対応について	4	2	0	6	7
	小 計	88	56	15	159	137
障 害	発達の問題	30	2	0	32	34
	知的な問題	2	1	0	3	2
	身体の問題	0	0	0	0	0
	その他の障害・疾患	1	1	0	2	1
	小 計	33	4	0	37	37
家 庭 環 境	親の養育不安	13	1	0	14	27
	虐待・虐待の疑い	0	0	0	0	0
	家庭内暴力（DVを含む）	0	0	0	0	1
	養育困難	3	0	0	3	3
	経済的な困難	0	0	0	0	0
	小 計	16	1	0	17	31
合 計	137	61	15	213	205	

※最終したケース（88件）を含む。

4 SSW主訴別実数（集計期間：4月から3月まで）

主訴内容	件数		
	小学生	中学生	合計
不登校	98	104	202
いじめ・暴力行為・非行等の問題行動	23	6	29
友人・教職員等との関係の問題	45	3	48
児童虐待	2	0	2
性的な被害	0	0	0
貧困の問題	0	0	0
ヤングケアラー	1	2	3
家庭環境の問題	81	27	108
心身の健康・保健に関する問題	18	16	34
発達障害等に関する問題	60	17	77
性的マイノリティ	0	0	0
その他	12	10	22
合 計	340	185	525

2 CO相談者（対象は、1主訴別実数）

相談者	件数
保護者	179
本人	8
学校	26
合計	213

3 COコーディネート先件数

（対象は、1主訴別実数）

関係機関名	件数
教育相談所	2
教育支援センター「太陽の子」	18
病院・クリニック	9
学びの多様な学校分教室「はしうち教室」	8
訪問型支援「みらい」	24
学務課	2
SSW	2
学校	1
通級指導教室	5
特別支援学級	3
子ども・若者総合支援事業「ここあ」	1
通級指導者	3
放課後等デイサービス	1
合計	79

5 SSW相談者（対象は、4主訴別実数）

相談者	件数
保護者	139
本人	89
学校	268
その他	29
合計	525

【主な特徴】

○COの主訴内容（実数）は、不登校・登校しぶりが全体の約64%と最も多く、次に発達の問題、親の養育不安の順に多くなっている。
 ○COの主なコーディネート先は、訪問型支援「みらい」、教育支援センター「太陽の子」が多い。
 ○SSWの主訴内容（実数）は、不登校が全体の約38%と最も多く、次に家庭環境の問題、発達障害等に関する問題の順に多くなっている。
 ○相談者は、CO、SSW共に保護者が最も多い。